



GENERAL RESEARCH

アルコールハラスメントに関する意識調査

2018.12.26 Wed



**アルハラをしたことがある方の割合はわずか1割に対し、
アルハラを受けたことがある方の割合が4割という結果に。
無自覚なハラスメントが社会問題となる。**

この度、ゼネラルリサーチ株式会社（代表取締役：五條 寿朗、本社：東京都渋谷区）は、「アルコールハラスメントに関する意識調査」を全国の20～60代男女1,309名を対象に実施いたしました。

12月は一年の締めくくりとしてバタバタする中、忘年会のシーズンでもあり、お酒を飲む機会が増えてくる時期でしょう。お酒を飲む際に注意したいのが、飲み過ぎによる「急性アルコール中毒」や「人間関係のトラブル」、エスカレートすると「社会的責任」を問われる場合もあります。近年では様々なハラスメントが取り沙汰されていますが、お酒を強要する「アルコールハラスメント（以下：アルハラ）」が社会問題化しています。ハラスメントの問題点として、ハラスメントをする側は無自覚であることが多く、問題が表面化してから自覚するということがあります。

今回はそのようなハラスメントをする側とされる側の意識のずれが浮き彫りとなる調査となりました。

◆詳細はこちら：<https://general-research.co.jp/report05/>

調査結果のポイント

1. どのようなことをされたら「アルハラ」と感じるか
2. アルハラを受けた経験がある方と、したことがある方の割合
3. どのような場でアルハラが行われるのか、そしてアルハラに至った背景
4. アルハラを受けた際、断れるか

次のページへ続く

< 調査 1 > どのようなことをされたら「アルハラ」と感じるか

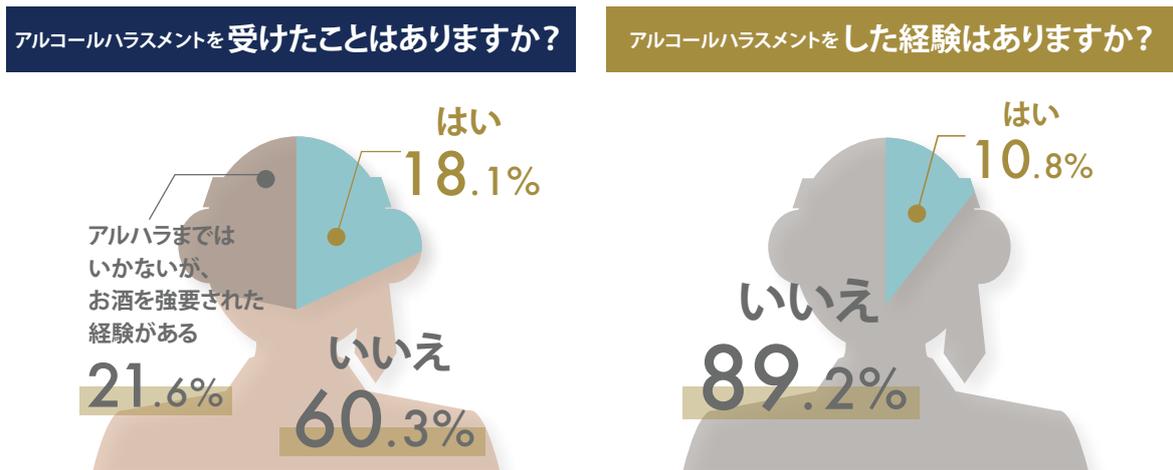
ハラスメントは様々な現場で起き、それぞれで定義づけられているため、何をもってしてハラスメントに当たるかということは難しいですが、広義の意味では「人を困らせること、いやがらせ。」とされています。そのため、人によってアルハラの内容は変わりますが、今回は「アルハラとはどのようなことだと思えますか？」というアンケートを取ったところ、「お酒の強要」が9割近くを占める結果となりました。下記のグラフをご覧ください。〈図 1〉



〈調査概要〉「アルコールハラスメント」に関するアンケート調査 ・調査日：2018年12月6日（木）～2018年12月7日（金）
 ・調査方法：インターネット調査 ・調査人数：1,309人 ・調査対象：全国20～60代の男女

< 図 1 >

< 調査 2 > アルハラを受けた経験がある方と、したことがある方の割合



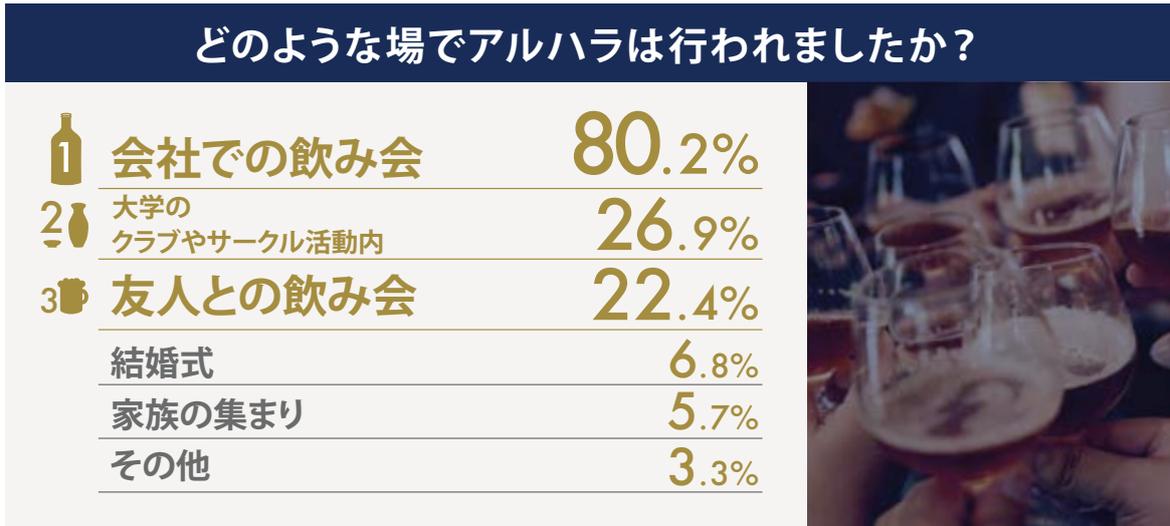
〈調査概要〉「アルコールハラスメント」に関するアンケート調査 ・調査日：2018年12月6日（木）～2018年12月7日（金）
 ・調査方法：インターネット調査 ・調査人数：1,309人 ・調査対象：全国20～60代の男女

< 図 2 >

〈図 2〉 調査の結果、アルハラを受けたことがある方が 18.1%、お酒の強要をアルハラとするのであれば、約 4 割近くの方がアルハラを受けたことがあるという結果となりました。また、アルハラをした自覚のある方は 10.8%と、30%近くの乖離があることが判明しました。

< 調査 3 > どのような場でアルハラが行われるのか、 そしてアルハラに至った背景

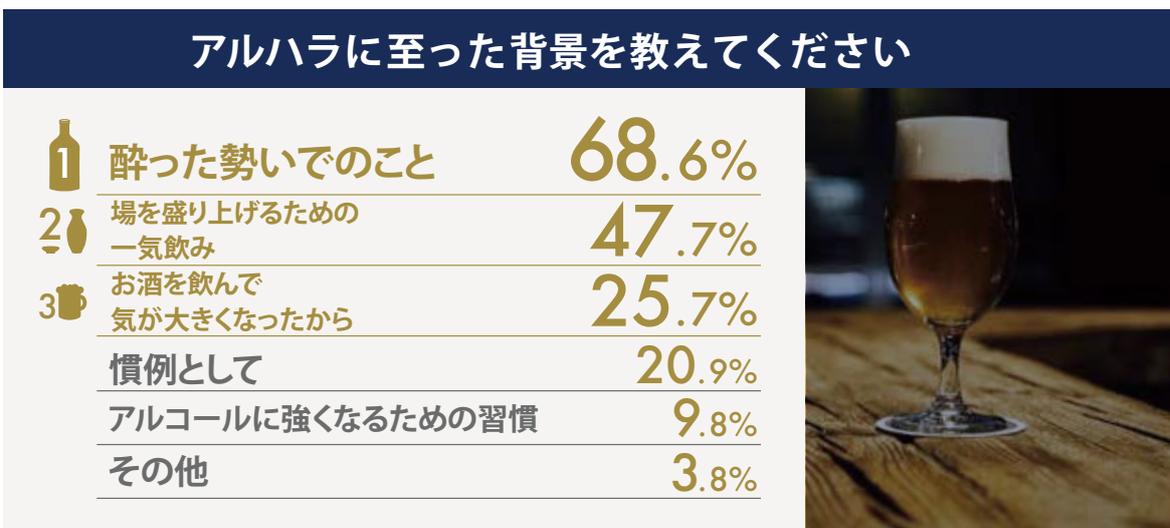
アルハラはお酒の場以外では起こり得ないですが、調査の結果「会社での飲み会」が圧倒的に多い結果となりました。〈図 3〉その他の回答と比較してみると、会社という立場のはっきりとした場でアルコールを飲むことを勧めた場合、本来あまりアルコールに強くなくても断りにくい状況が生まれてしまいます。そのため、会社での飲み会でアルハラが多くなると推測されます。



〈調査概要:「アルコールハラスメント」に関するアンケート調査〉・調査日:2018年12月6日(木)~2018年12月7日(金)
・調査方法:インターネット調査・調査人数:1,309人・調査対象:全国20~60代の男女

< 図 3 >

また、アルハラに至る背景としては「酔った勢いでのこと」が7割近くを占めて最も多く、アルコールによって普段よりも気が大きくなってしまいうことから勢いに任せてハラスメントに発展してしまうケースがあります。〈図 4〉

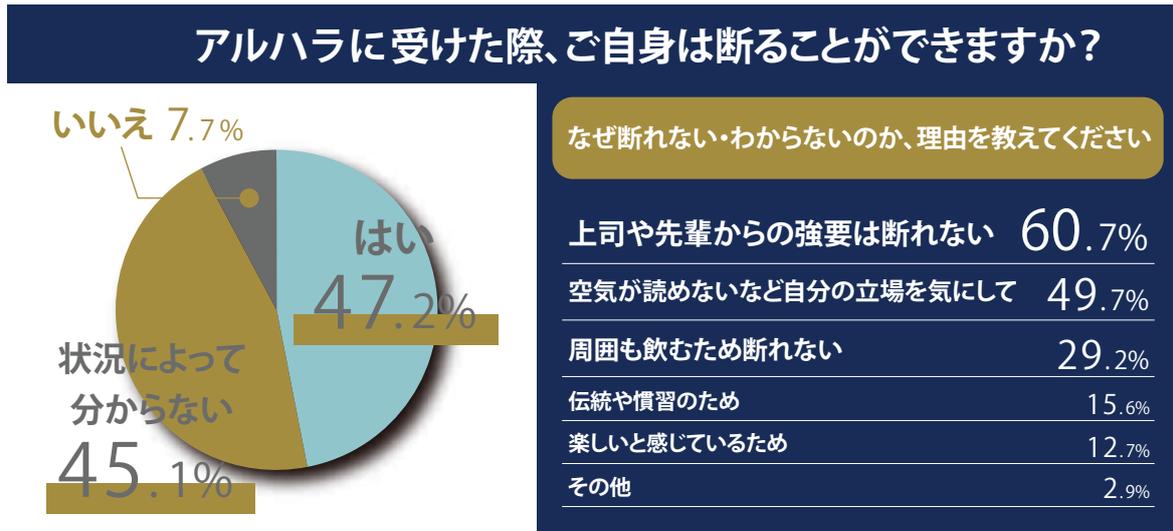


〈調査概要:「アルコールハラスメント」に関するアンケート調査〉・調査日:2018年12月6日(木)~2018年12月7日(金)
・調査方法:インターネット調査・調査人数:1,309人・調査対象:全国20~60代の男女

< 図 4 >

< 調査 4 > アルハラを受けた際、断れるか

< 図 5 > アルハラを受けた際に、はっきりと断れないという方は半数以上おり、理由としては「上司や先輩からの強要は断れない」、「空気が読めないなど自分の立場を気にして」、「周囲も飲むため断れない」などの回答がありました。様々な立場や、空気を読むこと、気遣いなど、社会に出たら身に着けておかなければならないことは多々ありますが、それがお酒の席でも適用されてしまうことでアルハラに発展してしまうのではないのでしょうか。



《 調査概要:「アルコールハラスメント」に関するアンケート調査 》・調査日:2018年12月6日(木)~2018年12月7日(金)
 ・調査方法:インターネット調査 ・調査人数:1,309人 ・調査対象:全国20~60代の男女

< 図 5 >

今後もハラスメントに関する動向を調査してまいります。

調査概要：アルコールハラスメントに関する意識調査

| | |
|------|----------------------------------|
| 調査日 | 2018年 12月6日(木)~2018年 12月7日(金) |
| 調査方法 | インターネット調査 |
| 調査人数 | 1,308名 ※本リリースにおける調査結果は少数第一位で四捨五入 |
| 調査対象 | 全国 20~60代男女 |
| 調査主体 | ゼネラルリサーチ |